

# 温泉分析書

(鉱泉分析試験法による分析)

No. 温-85040302

## 1. 申請者

住所 東京都小平市小川町一丁目2095番地  
氏名 有限会社 アーチス 代表取締役 荒井 秀郎

## 2. 源泉名および湧出地

源泉名 小平温泉  
湧出地 東京都小平市小川町一丁目2508番地4号  
源泉にて採水

## 3. 湧出地における調査および試験成績

- ①調査及び試験者
- ②調査及び試験年月日
- ③泉温
- ④湧出量
- ⑤知覚的試験
- ⑥pH値
- ⑦ラドン(Rn)

株式会社東京水質研究所 篠田 保  
平成22年4月19日  
34.6°C (気温)17.5°C  
158 L/分(動力揚湯)  
弱黄褐色澄明微弱塩味無臭・ガス発泡有  
8.1  
未測定

## 4. 試験室における試験成績

- ①試験責任者
- ②分析終了年月日
- ③知覚的試験
- ④密度
- ⑤pH値
- ⑥蒸発残留物

株式会社東京水質研究所 篠田 保  
平成22年4月30日  
弱黄褐色澄明微弱塩味無臭(採取後24時間)  
0.9996 g/cm<sup>3</sup>  
8.2  
1780mg/kg(110°C)

## 5. 試料1kg中の成分:分量および組成

### (1)陽イオン

成分名		ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
水素イオン	H <sup>+</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
リチウムイオン	Li <sup>+</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
ナトリウムイオン	Na <sup>+</sup>	651.1	28.3	94.99
カリウムイオン	K <sup>+</sup>	7.6	0.19	0.65
アンモニウムイオン	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	0.4	0.02	0.07
カルシウムイオン	Ca <sup>2+</sup>	17.5	0.87	2.93
マグネシウムイオン	Mg <sup>2+</sup>	4.5	0.37	1.24
アルミニウムイオン	Al <sup>3+</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
マンガン(II)イオン	Mn <sup>2+</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
鉄(II)イオン	Fe <sup>2+</sup>	0.6	0.02	0.07
鉄(III)イオン	Fe <sup>3+</sup>	0.1 未満	0.00	0.01
ストロンチウムイオン	Sr <sup>2+</sup>	0.3	0.01	0.02
バリウムイオン	Ba <sup>2+</sup>	0.2	0.00	0.01
陽イオン計		682.2	29.8	100.00

### (2)陰イオン

成分名		ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
フッ素イオン	F <sup>-</sup>	0.2	0.01	0.03
塩素イオン	Cl <sup>-</sup>	737.3	20.8	65.43
硫化水素イオン	HS <sup>-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
硫化物イオン	S <sup>2-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
チオ硫酸水素イオン	HS <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>-</sup>			
チオ硫酸イオン	S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup>			
硫酸水素イオン	HSO <sub>4</sub> <sup>-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
硫酸イオン	SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	0.1	0.00	0.01
メタ亜ヒ酸イオン	AsO <sub>2</sub> <sup>-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
炭酸水素イオン	HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	655.8	10.75	33.82
炭酸イオン	CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	6.3	0.21	0.66
メタケイ酸水素イオン	HSiO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
メタケイ酸イオン	SiO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
メタホウ酸イオン	BO <sub>2</sub> <sup>-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
水酸イオン	OH <sup>-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
沃素イオン	I <sup>-</sup>	1.9	0.01	0.05
臭素イオン	Br <sup>-</sup>	0.1 未満	0.00	0.00
陰イオン計		1402	31.8	100.00

### (3)遊離成分

#### 非解離成分

成分名		ミリグラム	ミリモル
硫酸	H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub>	0.1 未満	0.00
メタ亜ヒ酸	HAsO <sub>2</sub>	0.1 未満	0.00
メタケイ酸	H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	27.4	0.35
メタホウ酸	HBO <sub>2</sub>	58.4	1.33
有機物(腐植質)		1 未満	
非解離成分合計		85.8	1.68

#### 溶存ガス成分

成分名		ミリグラム	ミリモル
遊離二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	8.7	0.20
遊離硫化水素	H <sub>2</sub> S	0.1 未満	0.00
溶存ガス成分合計		8.7	0.20

### (4)その他の微量成分

成分名		ミリグラム
総砒素	As	0.009
銅イオン	Cu	0.002
総クロム	Cr	0.001 未満
総水銀	Hg	0.0002 未満
鉛イオン	Pb	0.001 未満
カドミウムイオン	Cd	0.001 未満

溶存物質合計(ガスを除く)	2.17	g/kg
成分合計	2.18	g/kg

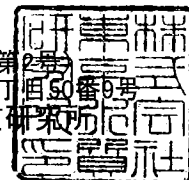
## 6. 泉質

ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉 低張性弱アルカリ性温泉

## 7. 禁忌症、適応症等は別表による

平成22年4月30日

(19東京都温泉分析第2号)  
東京都中野区中央3丁目50番9号  
株式会社東京水質研究所



# 温泉分析書別表

No. 温-85040302

1. 源泉名 小平温泉
2. 源泉所在地 東京都小平市小川町一丁目2508番地4号
3. 温泉分析申請者 有限会社 アーチス 代表取締役 荒井 秀郎
4. 泉質 ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉 低張性弱アルカリ性温泉

5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。

(1) 浴用の禁忌症

一般的禁忌症 急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

泉質別禁忌症

(2) 浴用の適応症

一般的適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症 きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病

(3) 飲用の禁忌症

腎臓病、高血圧症その他一般的にむくみのあるもの、甲状腺機能亢進症のときはヨウ素を含有する温泉を禁忌とする

(4) 浴用上の注意事項

- ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
- イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわりの湯あたり又は浴場反応）が現れることがある。  
「湯あたり」の間は、入浴回数を減じまたは入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ. 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
- ・ 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
  - ・ 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
  - ・ 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれをおこしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。）
  - ・ 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
  - ・ 次の疾患については、原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。  
高度の動脈硬化症、高血圧症、心臓病
  - ・ 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
  - ・ 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
  - ・ 飲酒しての入浴は特に注意する。

飲用上の注意事項

- ア. 飲泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましいこと。
- イ. 温泉飲用の1回の量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日の量はおおむね200mlないし1000mlまでとすること。
- ウ. 強塩泉、酸性泉、含アルミニウム泉及び含鉄泉はその泉質と濃度によって減量し、又は希釈して飲用すること。
- エ. 以上のほか、飲用については次の諸点について注意すること。
- ・ 一般には食前30分ないし1時間がよい。
  - ・ 含鉄泉、放射能泉及びヒ素又はヨウ素を含有する温泉は食後飲用する。含鉄泉飲用の直後には茶、コーヒーなどを飲まない。
  - ・ 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けることが望ましい。

(注)この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成22年4月30日  
東京都中野区中央3丁目30番9号  
株式会社 東京水質研究所

